

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社



2024年6月期 第3四半期決算説明資料
(プライム：3916)

2024年5月





1. 2024年6月期 第3四半期決算報告

2. 2024年6月期 連結決算業績予想

3. DITグループの2030年ビジョン及び
中期経営計画

4. 参考資料



1. 2024年6月期 第3四半期決算報告

2024年6月期 第3四半期決算総括

- 旺盛な需要を着実に取込み、売上高・利益ともに増収増益、過去最高を更新
- 不採算案件収束後のパートナーを含めた人員再配置による案件の立ち上げ遅れや事業規模拡大に伴う費用(各事業所での増床費用等、M & A 2社に伴う支払手数料)の増加の影響を受け、利益の伸びは期初想定内に留まるが、増益基調は今後も継続

主要KPI

売上高 : 14,736百万円

(前年同期比+8.9%)

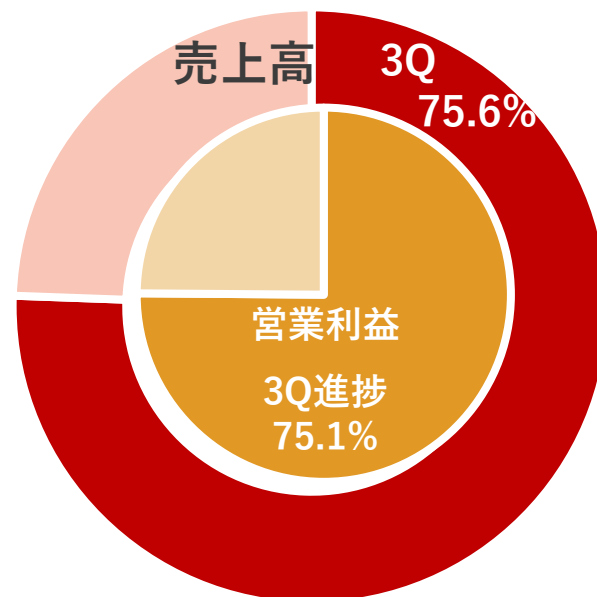
営業利益 : 1,878百万円

(同+22.2%)

営業利益率 : 12.7%

(同+1.4point)

通期予想進捗率



売上高 (予) : 19,500百万円

営業利益 (予) : 2,500百万円

2024年6月期 第3四半期決算総括（事業別）

■ビジネスソリューション事業では復調に時間を要したが、全ての事業で増収増益

■ソフトウェア開発事業(売上高 前年同期比+8.8%)

- ・ビジネスソリューション事業(前年同期比7.3%)は、前年度の不採算案件の損失処理の反動から、売上・利益ともに大幅に前年を上回る。業務システム開発は、金融系が回復、公共系、通信系、ローコード開発案件が好調の一方、医薬系、ERP案件は減少し、売上・利益ともに想定内に留まる。運用サポートは売上高、利益ともに過去最高を更新し好調を継続。
- ・エンベデッドソリューション事業(同+9.7%)は、車載関連が好調継続で増収増益。高単価案件の比率増により利益面の改善が進む。組込みシステム開発では半導体系が踊り場も、車載系、家電系IoT関連が大きく伸長。組込みシステム検証では車載系の検証業務が伸長を継続
- ・自社商品事業(同+20.4%)は、ライセンス売上げの積上げや電子契約サービス関連の売上増により増収増益。WebARGUSは順調にライセンスの積み上げが進み、xoBlosは、前期から積み上げていたリード顧客の案件の取り込みが進む。電子契約サービス「DD-CONNECT」は成長期に移行し、売上増加

■システム販売事業(売上高 前年同期比+11.4%)は、電子帳簿保存法の改正、インボイス制度の新制度導入に伴う需要が旺盛で大幅な増収も、体制強化継続により利益は減少

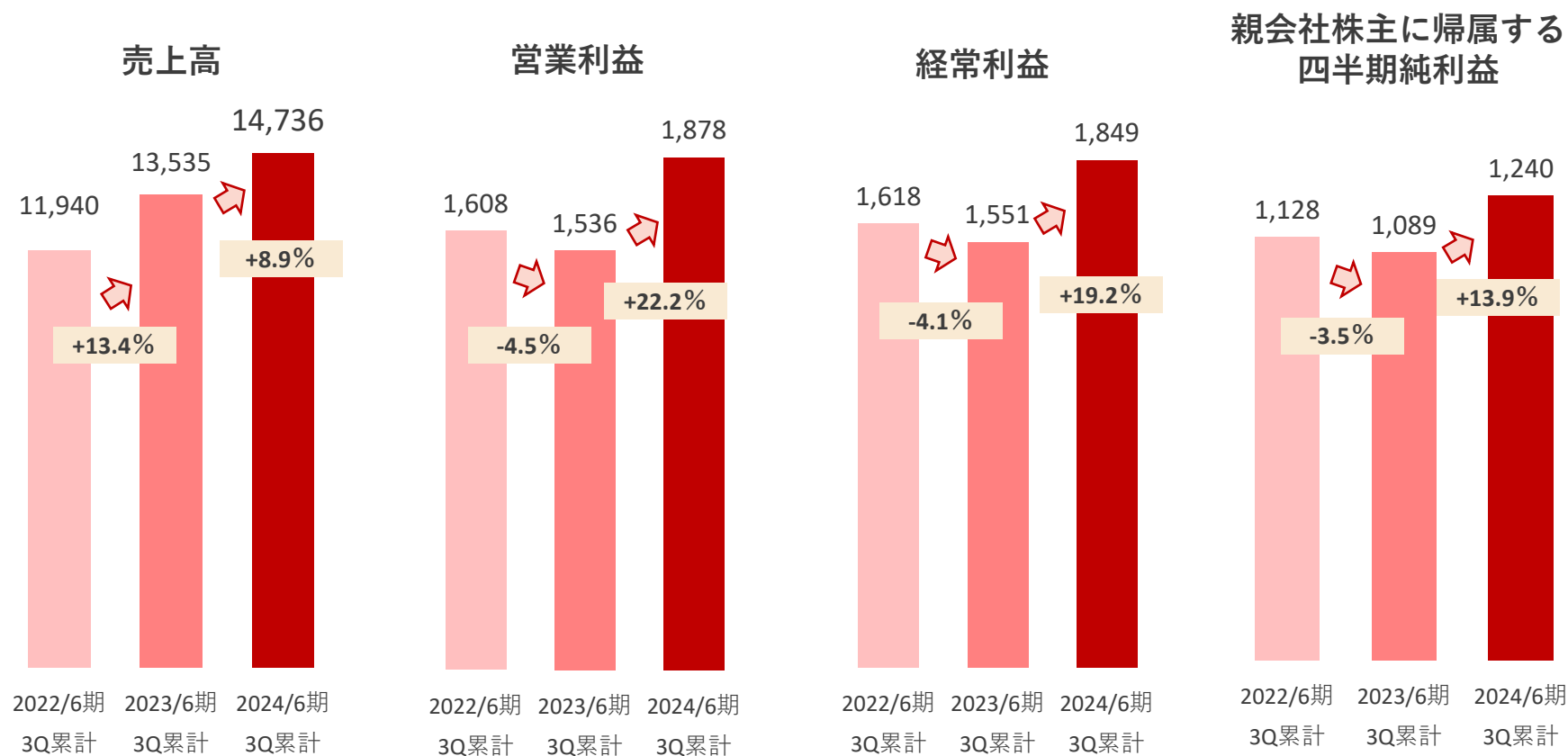
2024年6月期 第3四半期決算概要

- 旺盛な需要を着実に取り込み、前年同期より増収増益
- 利益面については、事業規模拡大に伴う費用増もあり、伸びは想定内に留まる

(単位：百万円)	2023/6期 3Q実績	構成比 %	2024/6期 3Q実績	構成比 %	増減率
売上高	13,535	100.0%	14,736	100.0%	+8.9%
売上総利益	3,150	23.3%	3,630	24.6%	+15.2%
販管費	1,613	11.9%	1,751	11.9%	+8.6%
営業利益	1,536	11.3%	1,878	12.7%	+22.2%
経常利益	1,551	11.5%	1,849	12.6%	+19.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,089	8.0%	1,240	8.4%	+13.9%

2024年6月期 第3四半期業績ハイライト

売上高、各利益とも過去最高を更新

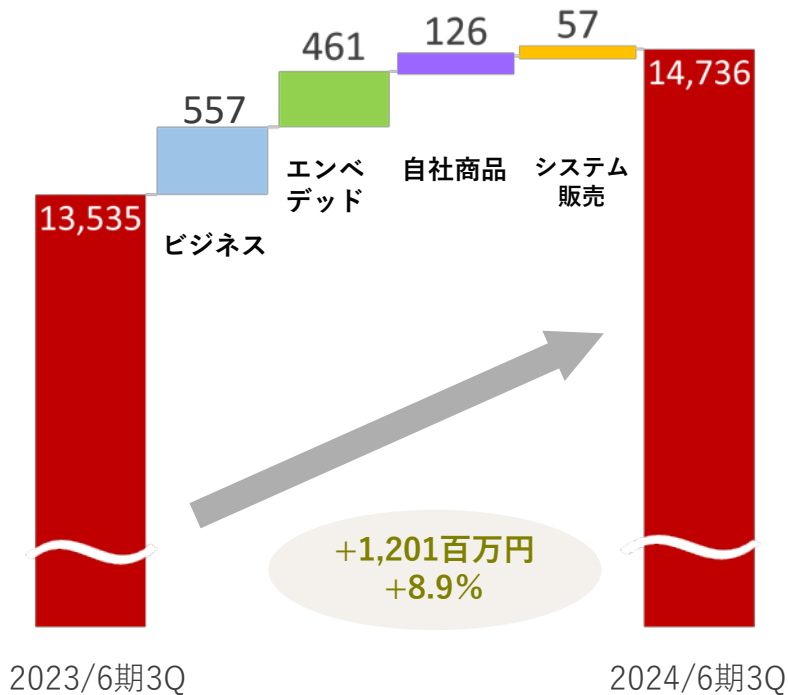


売上高、営業利益の増減要因（前期比）

- 売上高は全事業で伸長
- M&A2社に伴う一時的な支払手数料、採用活動費用増などによる販管費の増加を売上総利益の伸びが吸収し、増益

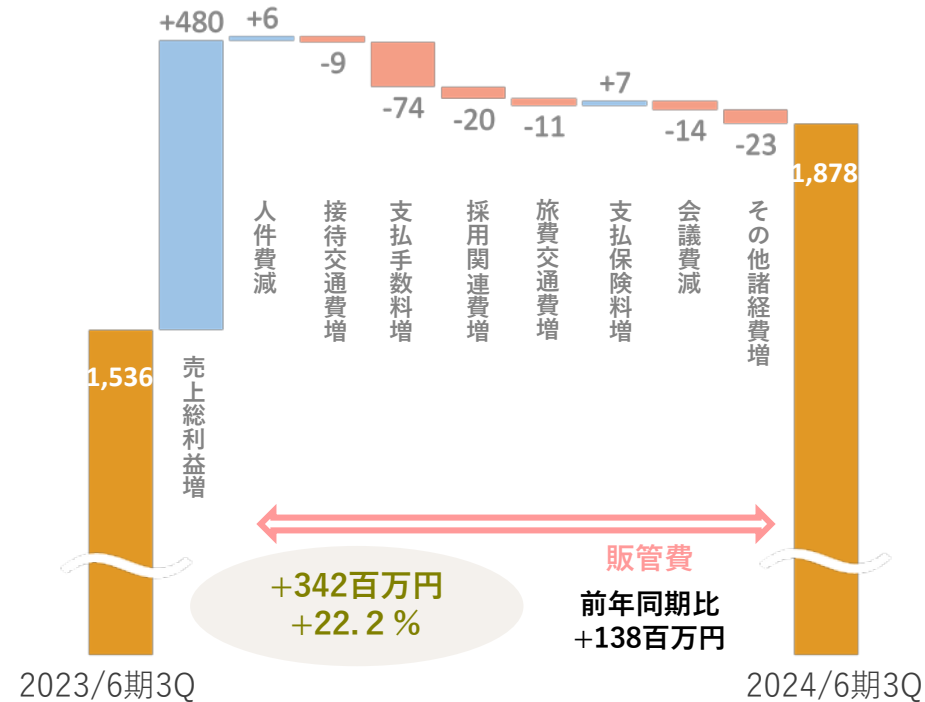
売上高

(単位：百万円)



営業利益

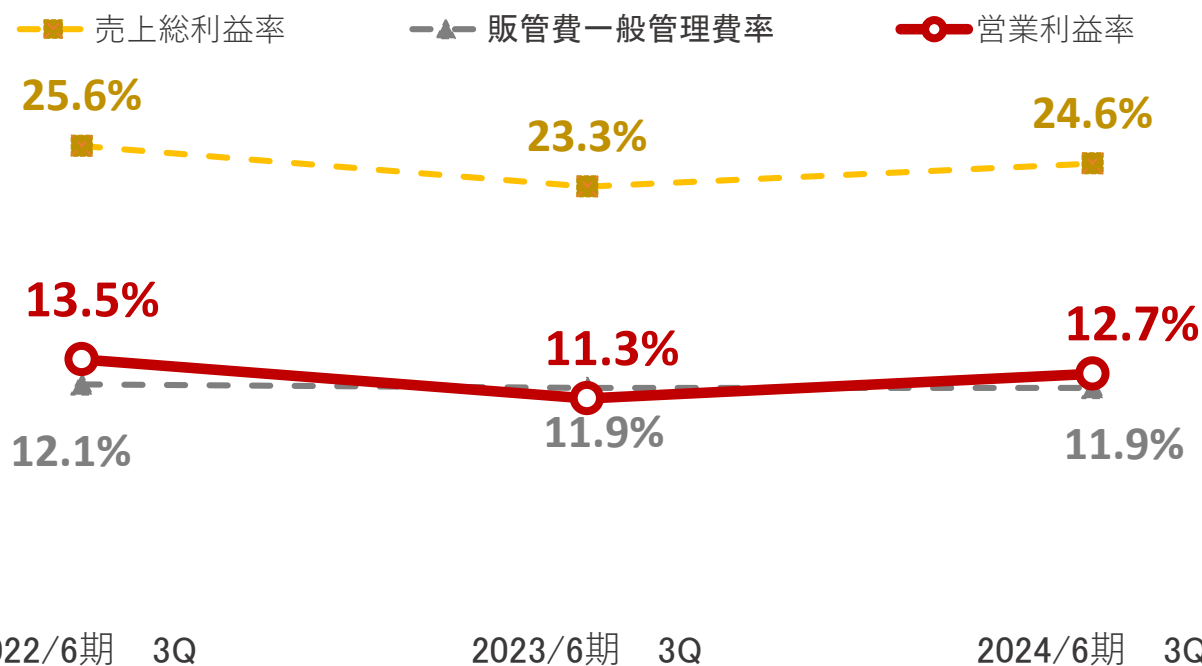
(単位：百万円)



営業利益率の推移

- 前年同期は不採算案件の直接的影響を最も受けた期間のため粗利率が低下したが、今期は順調に回復
- 販管費率が前年並みで推移し、営業利益率も前年同期より順調に回復

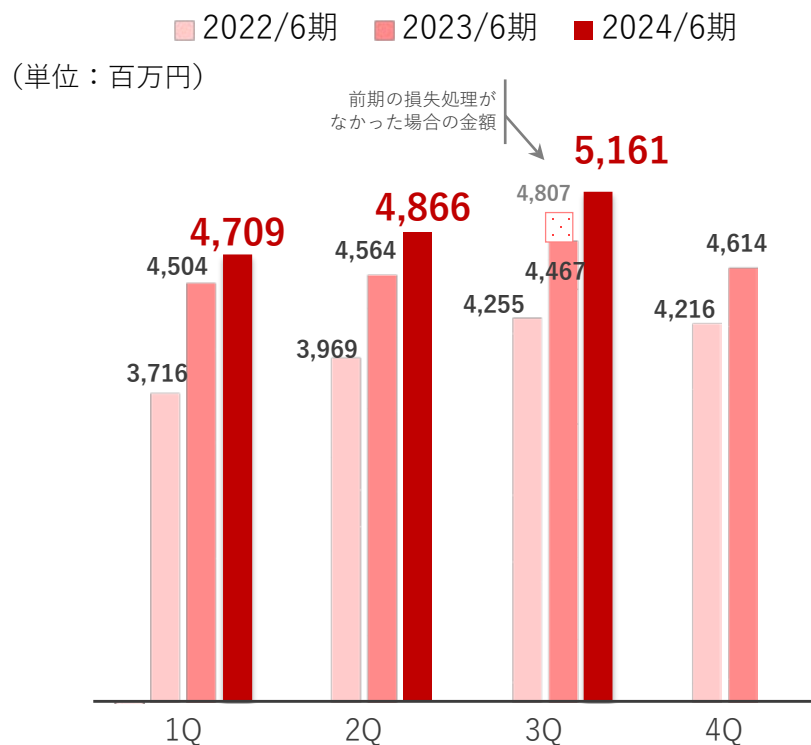
各利益&販売費一般管理費の対売上高比率



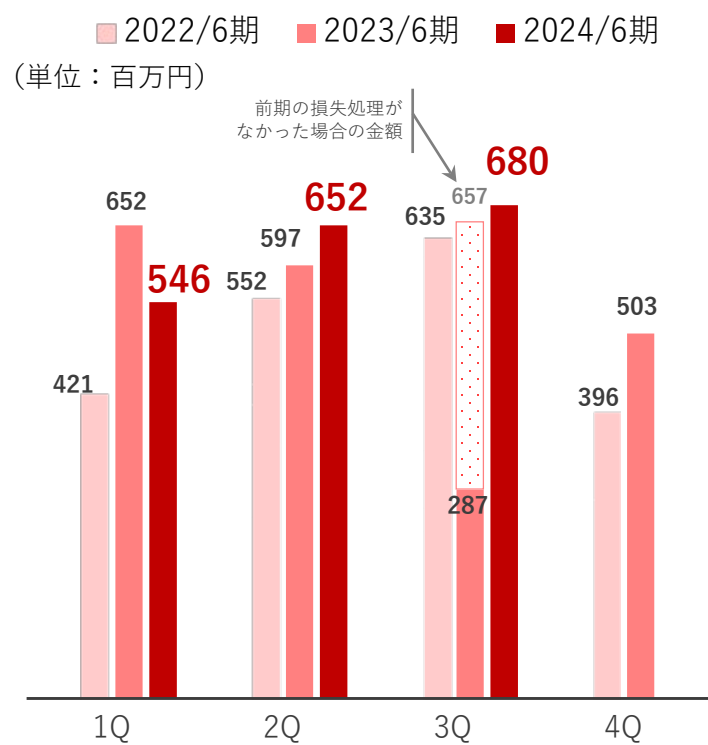
四半期会計期間別 売上高 & 営業利益推移

- 売上高は1Q、2Qに続き、3Qでも四半期会計期間において過去最高を更新
- 営業利益も2Qに続き、過去最高を更新

売上高



営業利益



* 営業利益は新入社員の受入れ、期末手当等で第4四半期に減少する季節性がありますが、前期からは給与ベースや賞与支給率を上げることで、減少幅の縮小を図っています。

事業領域：各事業の位置づけ



事業セグメントと売上構成

- 全事業が規模拡大する中、好調なエンベデッドソリューション事業の構成比率が徐々に増加
- 事業セグメントを横断した案件協力／顧客対応／案件創出も増加中

事業セグメント	分類	2022/6期3Q累計 売上高 構成比	2023/6期3Q累計 売上高 構成比	2024/6期3Q累計 売上高 構成比
ソフトウェア開発事業		96.2%	96.3%	96.2%
ビジネス ソリューション事業	事業 基盤	59.0%	56.8%	55.9%
うち業務システム開発		60.1%	55.4%	55.4%
// 運用サポート		39.9%	44.6%	44.6%
エンベデッド ソリューション事業	事業 基盤	32.0%	35.0%	35.3%
うち組込みシステム開発		75.6%	73.5%	73.7%
// 組込みシステム検証		24.4%	26.5%	26.3%
自社商品事業	成長 分野	5.2%	4.6%	5.0%
システム販売事業	事業 基盤	3.8%	3.7%	3.8%

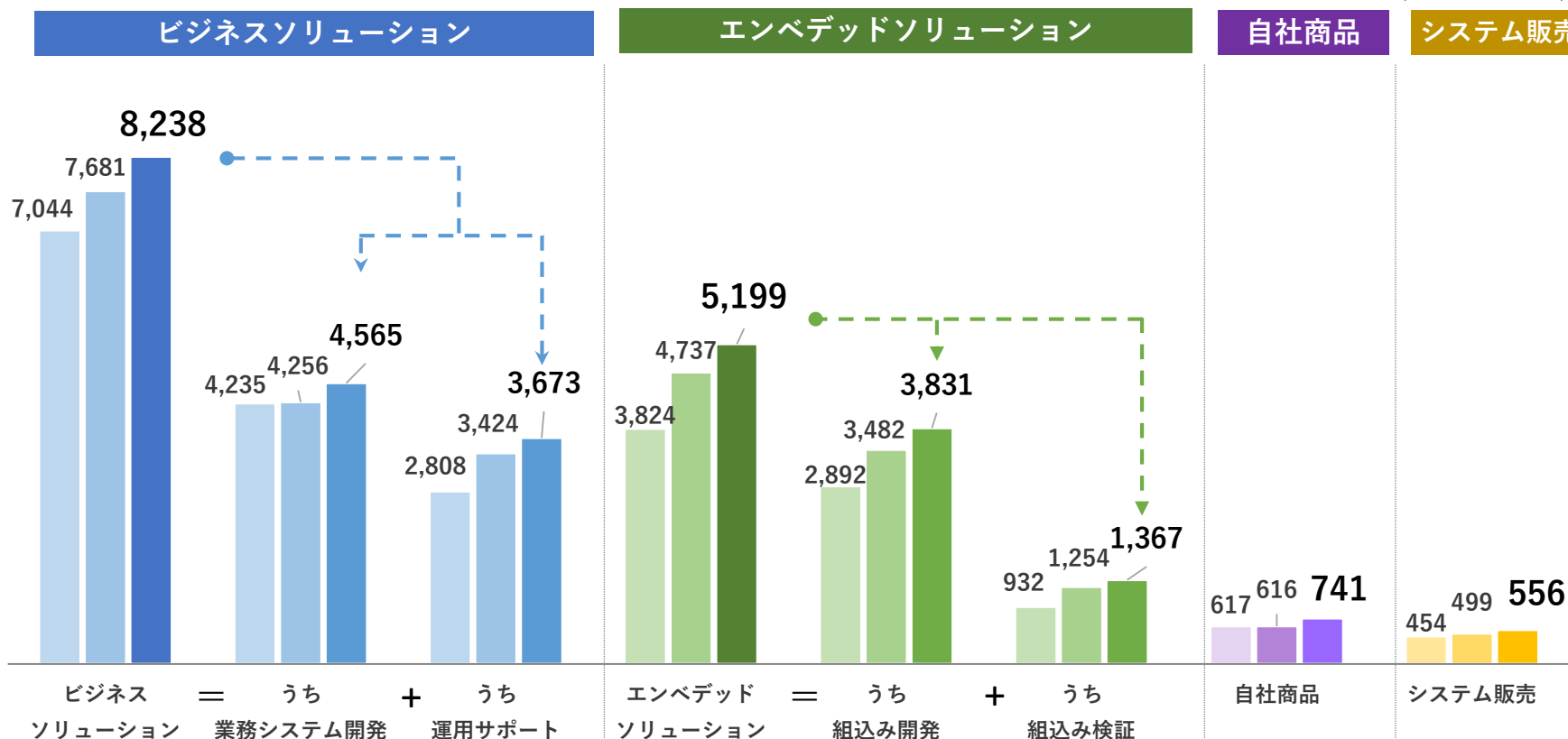
事業セグメント別売上高の推移

■ 全ての事業で増収、いずれも3Q累計で過去最高の売上高となった

事業別売上高の四半期推移

(グラフは左から2022/6期3Q累計、2023/6期3Q累計、2024/6期3Q累計)

(単位：百万円)

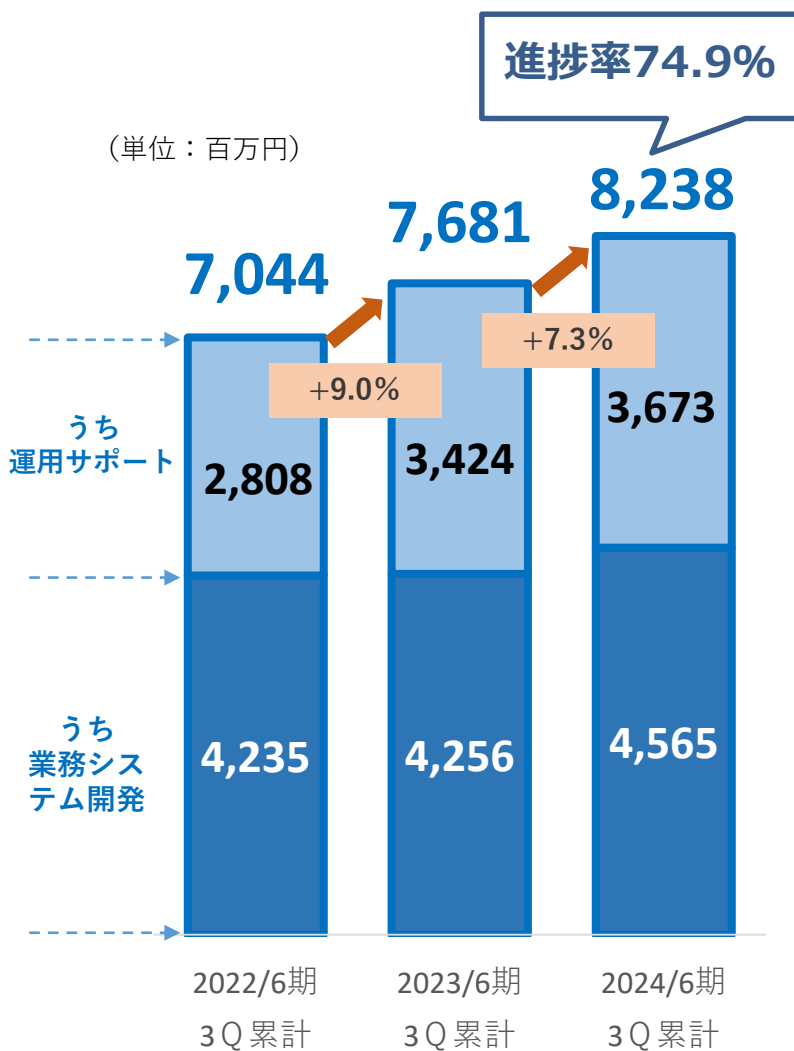


セグメント別売上高：ビジネスソリューション事業

売上高：8,238百万円
前期比：+7.3%

進捗率74.9%

(単位：百万円)



<事業全体>

不採算案件の直接的な影響は解消。前年度の不採算案件の損失処理の反動もあり、増収増益。ローコード開発、生成AI等技術変化が激しく、市場の変化に対応し、成長を目指す。

■業務システム開発

前年同期より増収増益。金融系は回復基調、公共系、通信系案件が好調も、医薬系、ERP案件が減少。不採算案件の収束作業後の技術者のローテーションに時間を要したが、来期に向け反転攻勢の準備が整う

■運用サポート

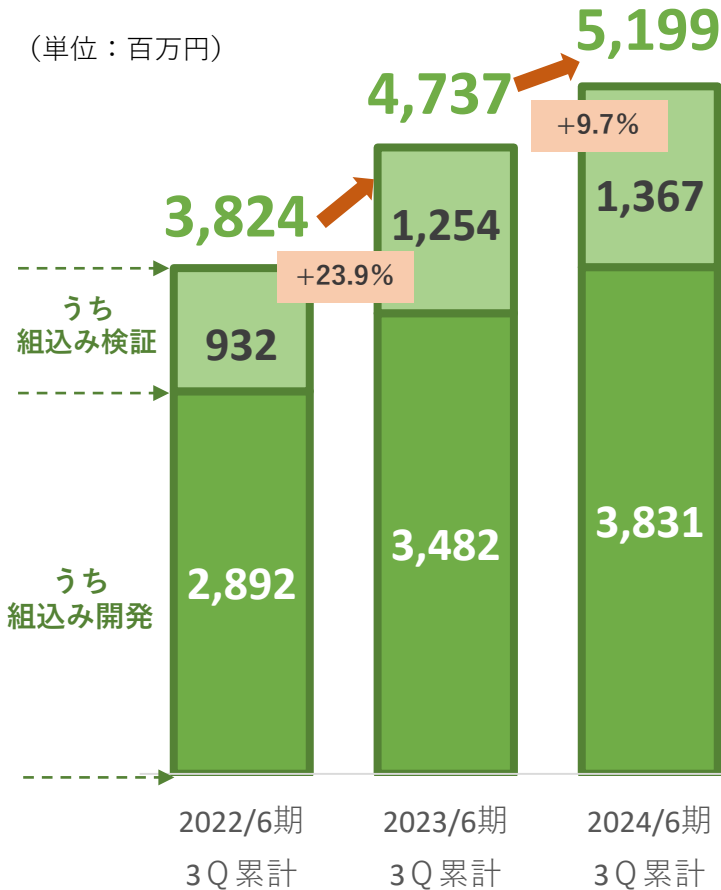
売上高、利益ともに過去最高を更新し好調継続。事業領域の拡張に加え、子会社シンプルズム社とのシナジー効果も業績に寄与

セグメント別売上高：エンベデッドソリューション事業

進捗率76.5%

売上高：5,199百万円
前期比：+9.7%

(単位：百万円)



<事業全体>

車載関連に戦略的にシフトし、好調継続で増収増益。EVや自動運転等のトレンドから国内の主要完成車メーカーを中心に投資意欲は旺盛、期初予想を上回る伸長が続く。高単価案件の比率も引き続き向上し、利益面の改善も進む

■組込みシステム開発

増収増益基調は継続。半導体関連は踊り場が継続も、主力の車載系は完成車メーカーを中心に旺盛な需要が続く、家電系のIoT案件も好調

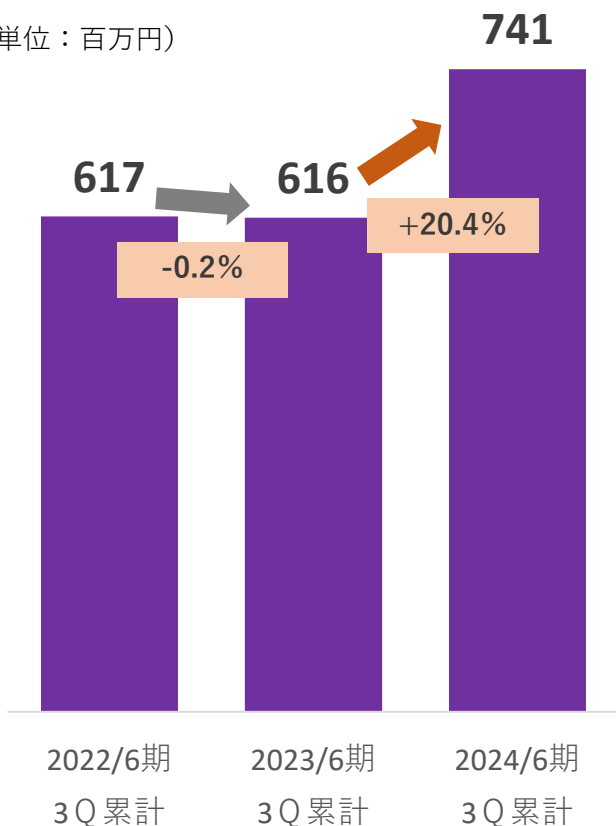
■組込みシステム検証

着実な増収増益を維持。車載系の検証業務が引き続き好調

売上高：741百万円
前期比：20.4%

進捗率74.2%

(単位：百万円)

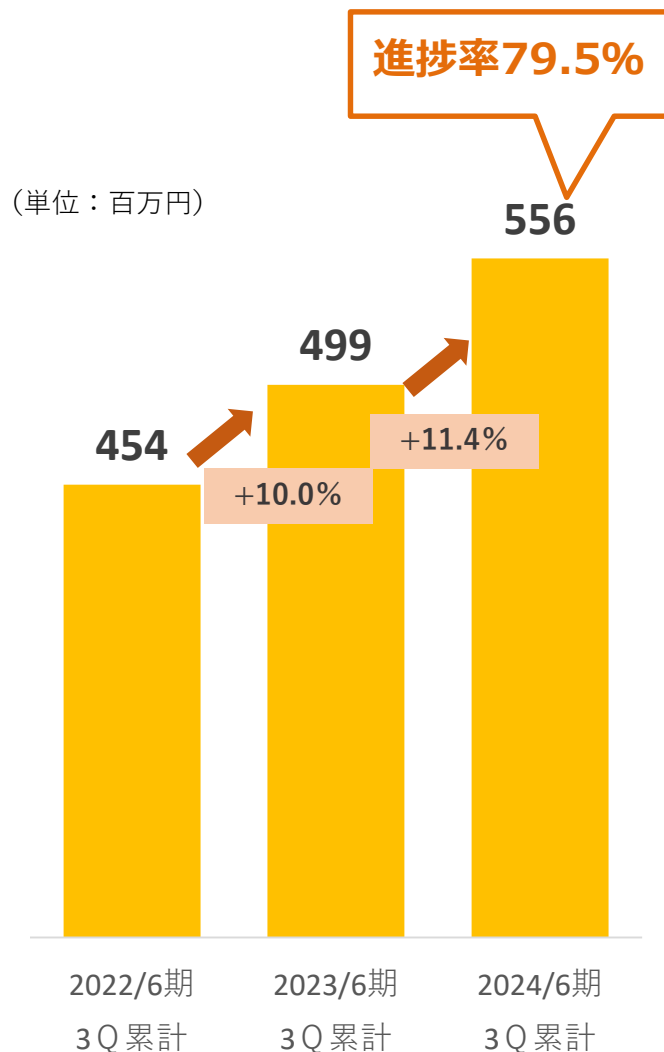


<事業全体>

ライセンス売上げの積上げや電子契約サービス関連の売上増により、大幅な増収増益基調が続く

- 【WebARGUS（ウェブアルゴス）：サイバーセキュリティ商品】**
 ライセンス売上の積上げが下支えし、売上・利益ともに着実に伸長。ランサムウェア対応版の引き合いも堅調
- 【xoBlos（ゾブロス）：業務効率化商品】**
 既存顧客内での横展開・クロスセルに加え、前期から積み上げていたリード顧客の案件取り込みが継続して貢献、大幅な増収増益
- 【その他新商品】**
 電子契約サービス「DD-CONNECT」は導入時の周辺開発までを一括して手掛ける形での展開が奏功し、大幅な増収増益を継続

セグメント別売上高：システム販売事業



売上高：556百万円
前期比：+11.4%

<事業全体>

電子帳簿保存法やインボイス制度導入といった新制度への移行に伴う需要増は継続

- 電子帳簿保存法改正対策やインボイス制度導入の駆け込み需要を着実に取込み大幅な増収も、事業体制の強化に伴い利益は対前年比減少傾向が続く

※ システム販売事業は、カシオ計算機株式会社製中小企業向け業務支援及び経営支援の基幹システムである楽一の販売を主としております

貸借対照表

■ 自己資本比率は67.2%と高い水準を維持

■ 2月に発表した2件のM&A実行に伴い、無形固定資産等が大きく増加

(単位：百万円)

	2023/6月末	2024/3月末	増減
現金・預金	4,185	3,861	△323
売掛金及び契約資産	2,953	3,763	810
仕掛品	108	61	△46
その他	131	277	145
流動資産 計	7,378	7,964	586
有形固定資産	138	181	43
無形固定資産	172	886	714
投資その他の資産	487	666	179
固定資産 計	798	1735	936
資産 合計	8,176	9,699	1,522

	2023/6月末	2024/3月末	増減
買掛金	615	812	197
未払法人税等	407	387	△19
その他	957	1,419	462
流動負債 計	1,980	2,620	640
長期借入金	—	185	185
株式給付引当金	142	163	20
その他	47	109	62
固定負債 計	190	458	268
負債 合計	2,170	3,078	908
資本金	453	453	—
資本剰余金	459	459	—
利益剰余金等	5,094	5,708	614
純資産 合計	6,006	6,620	614
負債・純資産 合計	8,176	9,699	1,522

※百万円以下切捨



2. 2024年6月期 連結決算業績予想

2024年6月期 業績予想

- 中計最終年度に当たり、中計で掲げた「事業基盤の安定化」と「成長要素の強化」の2軸を基に、14期連続の増収増益を目指す
- 3Q時点での進捗率は、ほぼ想定どおりに推移

(単位：百万円)	2023/6期 実績	構成 %	2024/6期 予想	構成 %	前期比 %	3Q時点の 進捗率%
売上高	18,149	100.0%	19,500	100.0%	+7.4%	75.6%
営業利益	2,039	11.2%	2,500	12.8%	+22.6%	75.1%
経常利益	2,059	11.3%	2,500	12.8%	+21.4%	74.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,447	8.0%	1,734	8.9%	+19.8%	71.5%

セグメント別 業績予想

- ソフトウェア開発事業、システム販売事業の事業ごとの伸び率には変更なく、連結業績全体で+7.4%の増収の予想
- ソフトウェア開発事業の内訳の一部の予想値を軽微修正
ビジネスソリューション事業は微減となる見込みも、エンベデッドソリューション事業で補完できる見込み

(単位：百万円)

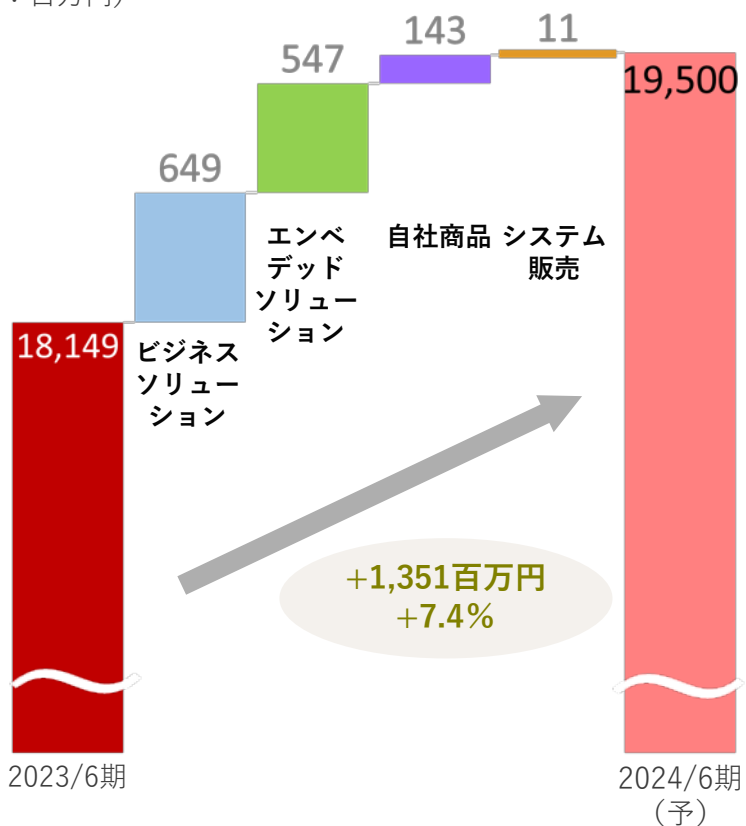
事業セグメント	2023/6期 売上高	2024/6期 修正後予想	前期比 増減%	構成比	2024/6期 期初予想	期初予想比 増減%
ソフトウェア開発事業	17,460	18,800	7.7%	96.3%	18,800	—
ビジネスソリューション事業	10,350	11,000	6.3%	56.4%	11,300	-2.7%
エンベデッドソリューション事業	6,253	6,800	8.7%	34.9%	6,500	+4.6%
自社商品事業	856	1,000	16.7%	5.1%	1,000	—
システム販売事業	688	700	1.6%	3.6%	700	—
合計	18,149	19,500	7.4%	-	19,500	—

主要K P I (売上高、営業利益/利益率)

■ 内訳の一部で予想値修正も全事業で増収増益を見込む

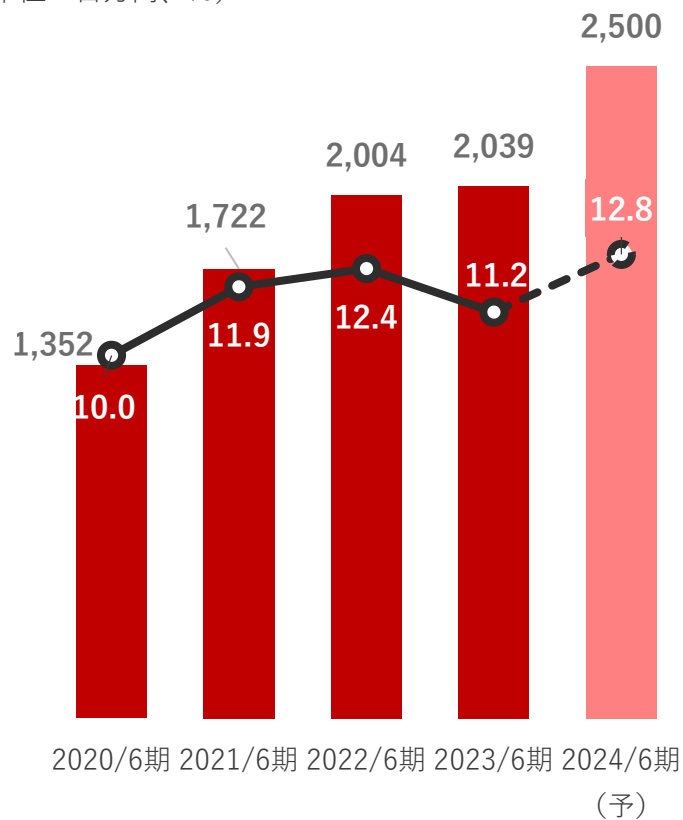
売上高

(単位：百万円)



営業利益 / 営業利益率

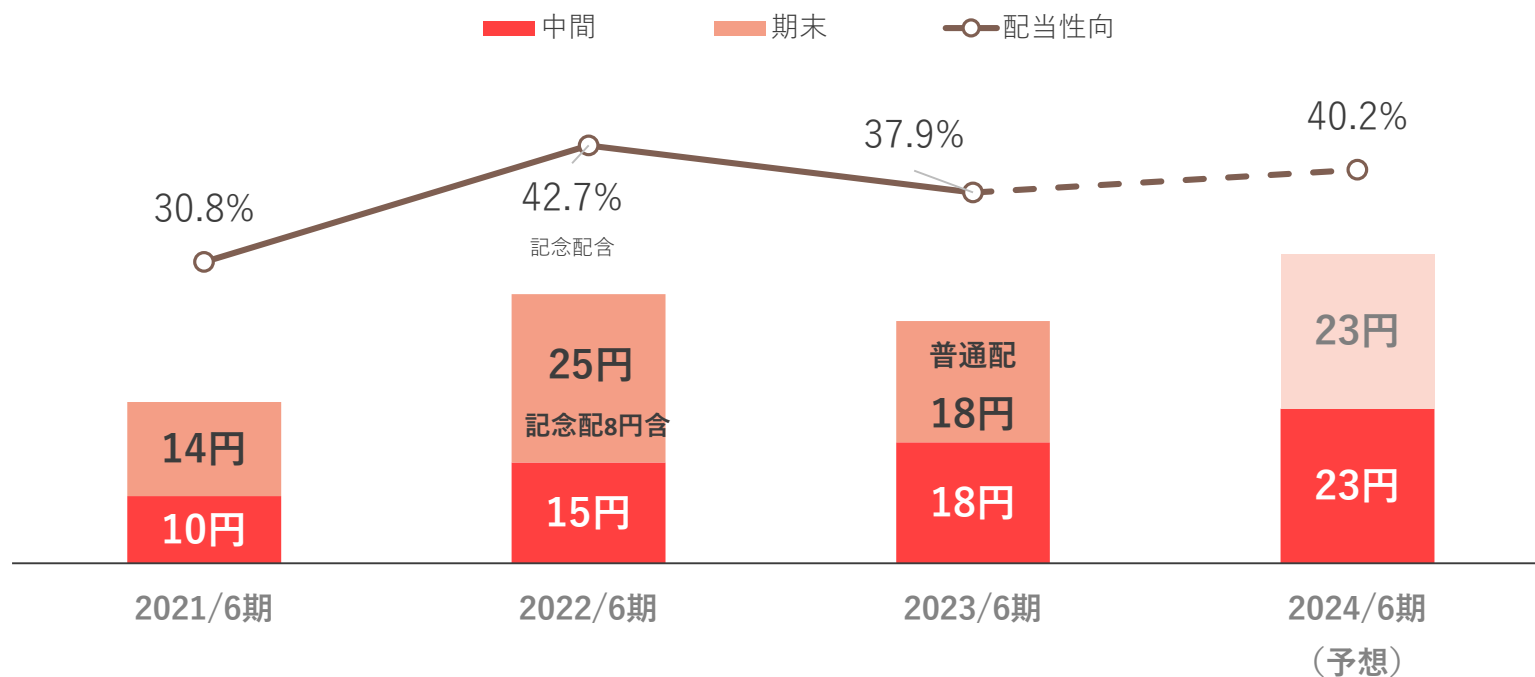
(単位：百万円、%)



株主還元（配当予想）

- 株主還元を重視し、中計の目標配当性向35%以上を24/6期から40%以上に変更。24/6期は年間1株当たり配当額46円、配当性向は40.2%の予想で期初予想より変更なし

配当金及び配当性向の推移



3.DITグループの2030年ビジョン及び 中期経営計画

(23/8/10開示の説明資料より一部抜粋)



中期経営計画の目標値

- 23/6期は開示した売上・利益共に超過。24/6期は目標達成を見込む
- 今年8月には新たな中期経営計画を公表予定

	21/6期 (実)	22/6期 (実)	23/6期 (実)	24/6期 (予)
売上高	144億円	161億円	181億円 (目標:180億円)	195億円 (↑185億円)
営業利益	17.2億円	20.0億円	20.3億円 (目標:19.0億円)	25.0億円
営業利益率	11.9%	12.4%	11.2% (目標:10.6%)	12.8%
ROE	29.2%	28.6%	25.1%	最低20% 以上を維持
配当性向	30.8%	42.7% (記念配を実施)	37.9%	40%以上

■ 一株当たり配当予想

一株当たり 年間配当額	24.0円 (普通配)	40.0円 (普通配32円、記念配8円)	36.0円 (普通配)	46.0円 (普通配)
----------------	----------------	-------------------------	----------------	----------------

2030年ビジョン

信頼され、選ばれるDITブランドに向かって

DIT ブランド

～ Enhance Customer Value ! ～

DIT Services ワンランク上の価値提供

+ DIT Spirits

DIT Security



安全・堅牢

DIT Efficiency



効率向上

DIT Support



安心運用

DIT Consulting



課題解決・
提案力

DIT Quality



高品質

DIT Technologies



高度技術

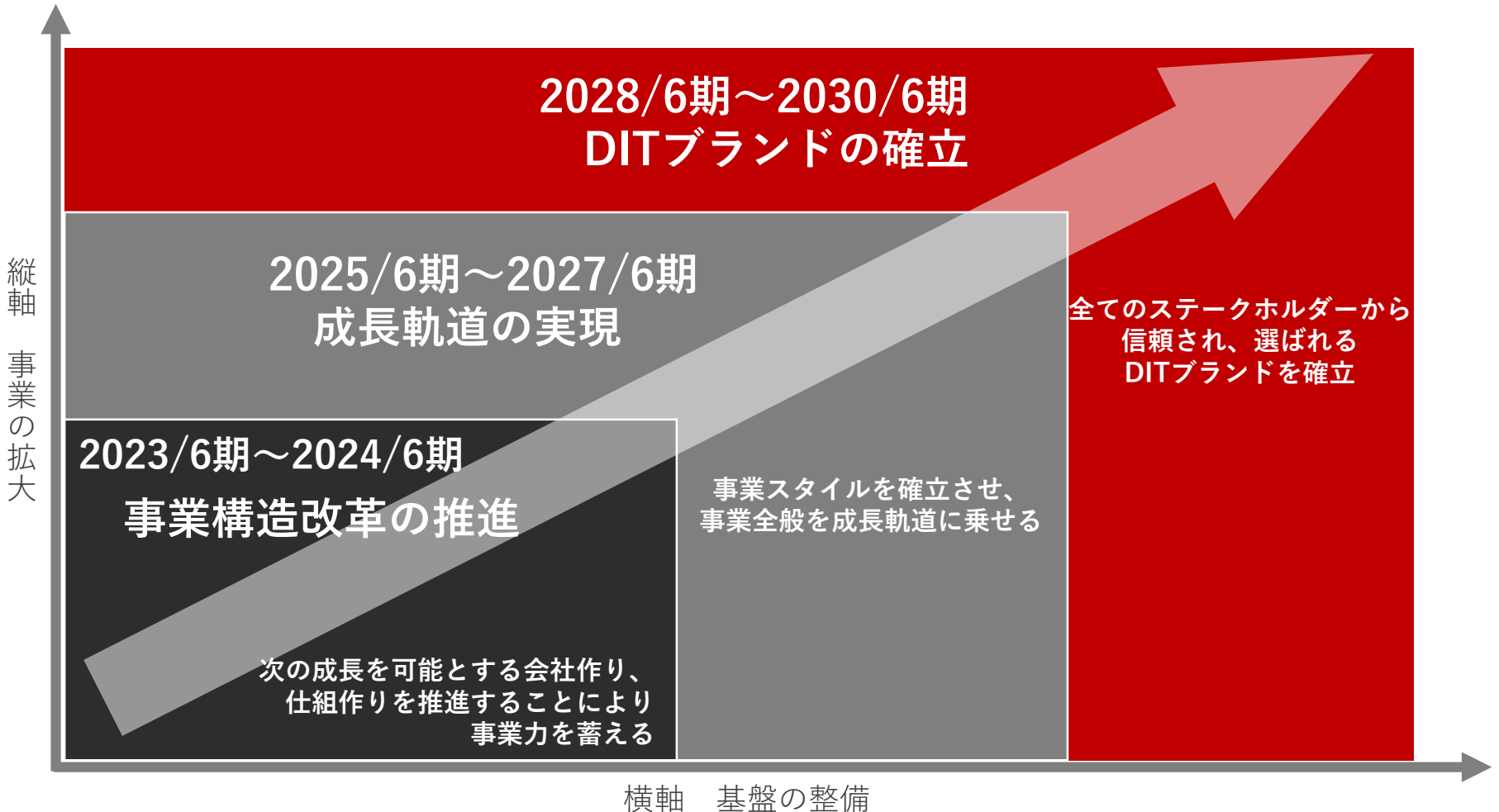


プロフェッショナル集団

2030年ビジョンの実現ステップ



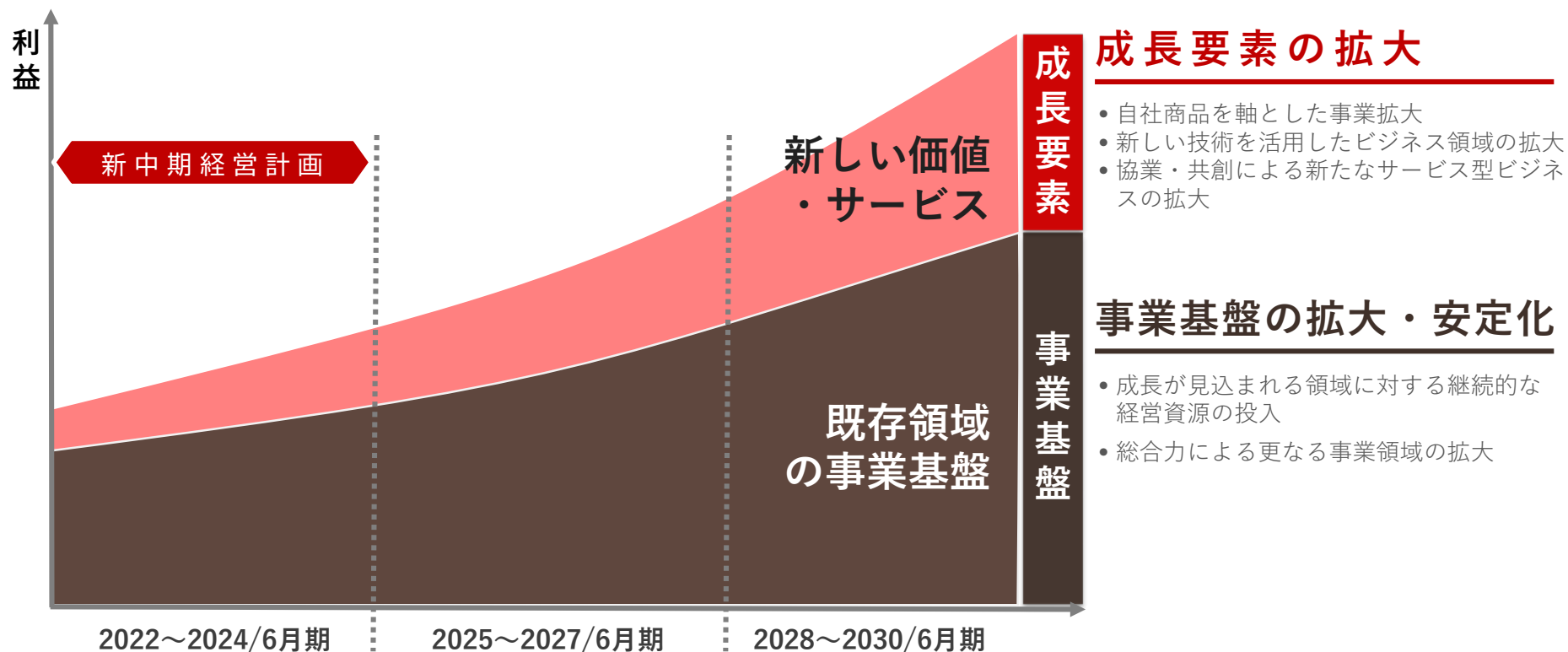
DIT 2030 Vision



中長期成長モデル

■これまでの成長を支えてきた「二軸の事業推進」をより強化し、事業基盤の更なる拡大と新しい価値・サービスの提供を推進していく

1	事業基盤	・・・幅広い事業領域の安定的な取引を強みに更なる基盤拡大
2	成長要素	・・・社会変化に対応した新しい価値・サービスの提供



経営目標

売上高 500 億円への挑戦！

<チャレンジ500>

2023/6期 実績

2030/6期 目標

売上高

181 億円

オーガニックグロース

300 億円以上

+新規事業・M&A等

500 億円

営業利益

20 億円

40 億円以上

50 億円

配当性向

35% 以上

2023/6期まで

35% 以上 40% 以上

2024/6期以降

2月14日にM&A2件を発表（その1）

- 「DIT2030ビジョン」実現へ向けた更なる成長のため、2件のM&Aを発表
- システム・プロダクト社は当社の強みである金融業界の開発力や、ニーズが増加するSalesforce関連の技術・ノウハウを有しているソフトウェア開発企業



システム・プロダクト(株) 概要

設立：1979年4月

代表：代表取締役社長 福田 幸二

従業員数：61名（役員及び契約社員含）

主な業務：金融系を中心としたコンピュータシステム及びソフトウェアの企画、開発・販売・保守等

直近業績：売上高6.3億円、営業利益0.3億円、
純資産4.6億円（全て2023/3期）

システム・プロダクト社の業績については
来期(2024年7月から) よりビジネスソリューション事業に含めて計上予定

2月14日にM&A2件を発表（その2）

- ジングル社はソフト製品販売において強力な販売力を有し、当社自社商品事業とのシナジー創出にも期待
- 富士ソフト株式会社が開発・販売する年賀状やハガキ作成ソフト「筆ぐるめ」を主にBtoC向けに販売
- BtoB向けの商材として、独占販売権を有するクラウドマイグレーションツール「Data Migration Box」、自社で著作権を有するUSBメモリ型のデータ消去ソフト「DiskDeleter」及びGOLD Resellerとして販売しているPDFファイルを自由に編集できる多機能型PDF統合ソフト「PDF-Xchange Editor」が成長を牽引

Jungle



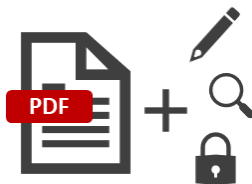
Data Migration Box
(独占販売権)



DiskDeleter®
(著作権所持)



筆ぐるめ



PDF -Xchange Editor
(GOLD Reseller)

(株)ジャングル 概要

設立：1999年9月

代表：代表取締役 高田晃子

従業員数：19名（役員及び契約社員含）

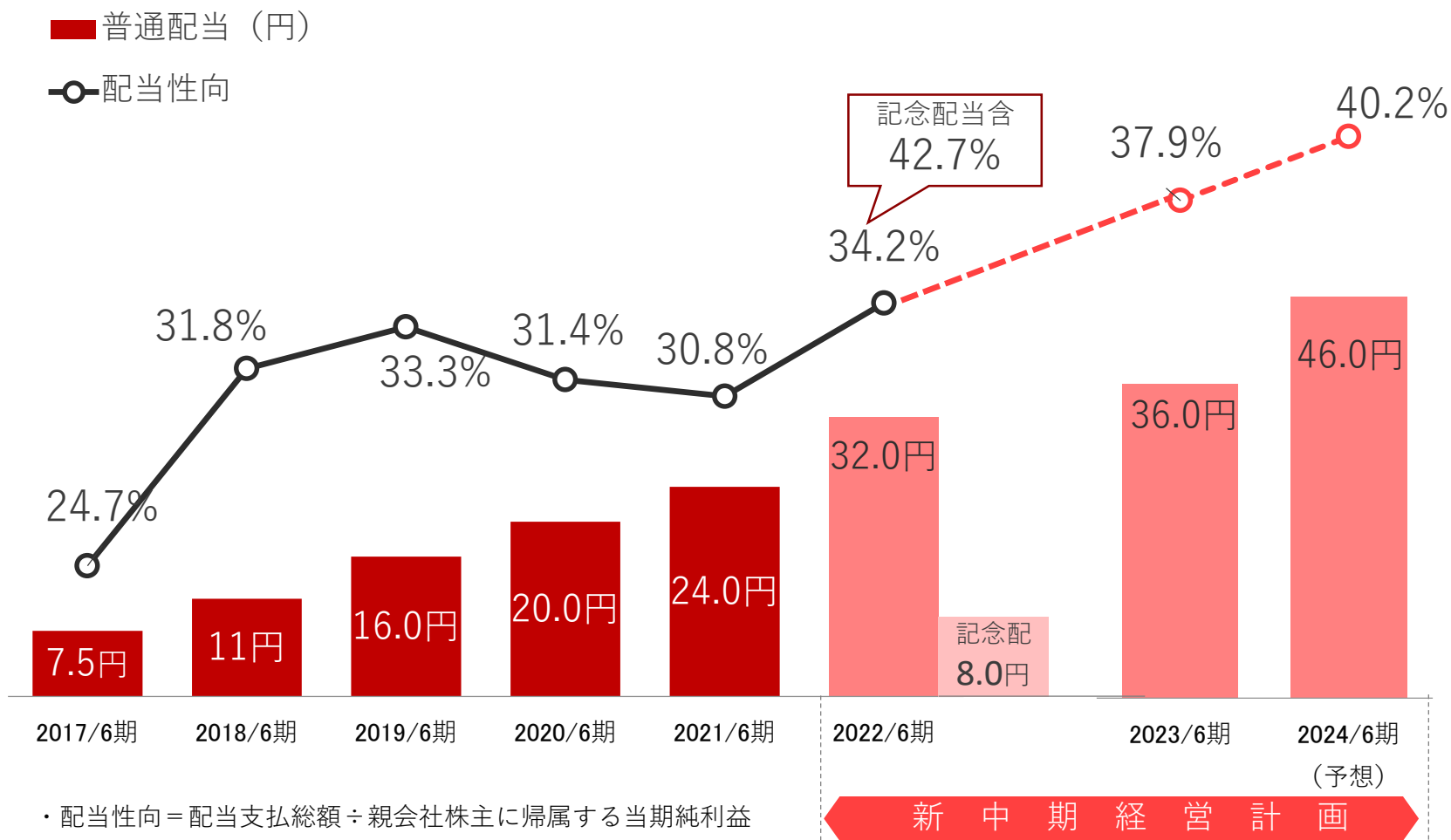
主な業務：BtoC、BtoBモデルでのソフトウェア及びサービスの企画、開発、販売

直近業績：売上高6.9億円、営業利益1.0億円、
純資産1.6億円（全て2023/6期）

ジャングル社の業績については2024/6期4Q
(2024年4月から) より自社商品事業に含めて
計上予定

中期経営計画の経営目標（配当性向）

- 配当性向35%以上の目標を24/6期から40%以上に変更
- 24/6期の配当性向は40.2%の予想





4.参考資料

会社概要

商号: デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
Digital Information Technologies Corporation

設立: 2002年1月4日

事業内容: 業務系システム開発、組込系システムの開発及び検証、
システム運用サービス、自社開発ソフトウェア販売及び
システム販売事業

本社所在地: 東京都中央区八丁堀4-5-4 FORECAST桜橋5階

資本金: 453,156千円 (2023年6月末)

決算期: 6月30日

従業員数 1,330名(単体1,139名) (2023年6月末)

役員: 代表取締役社長 市川 聡
他社内取締役 4名、社外取締役 4名
常勤監査役 1名、社外監査役 2名 (2023年6月末)

グループ会社: DITマーケティングサービス株式会社、DIT America,LLC.
株式会社シンプルズム (2023年6月末)



代表取締役社長 市川 聡

2004年3月 当社入社
2007年7月 執行役員経営企画本部経営企画部長
2010年7月 執行役員事業本部部長
2012年9月 取締役執行役員経営企画部長兼商品
企画開発部長
2015年7月 常務取締役事業本部部長
2016年7月 代表取締役専務執行役員
2018年7月 代表取締役社長

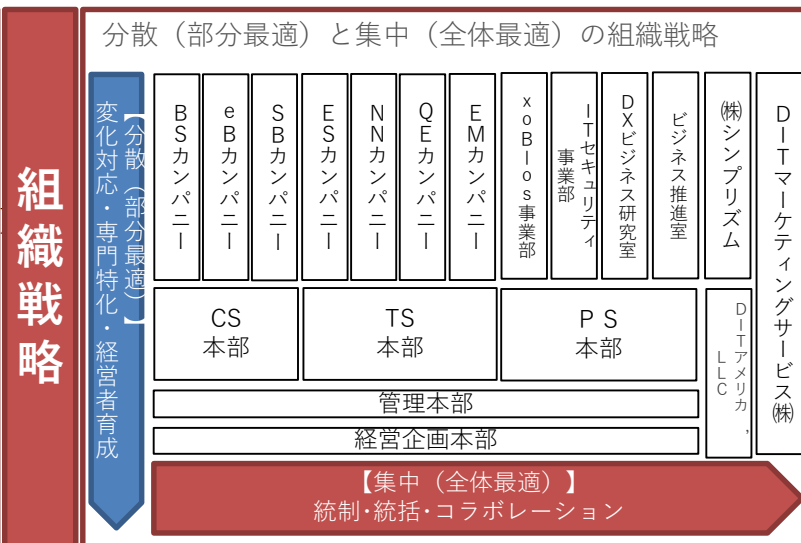
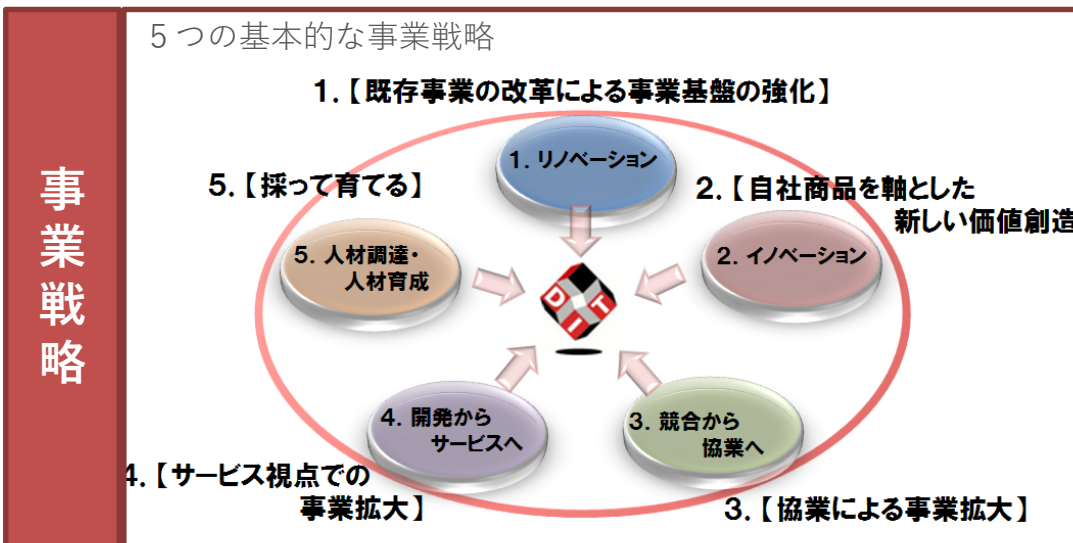
国内外の開発拠点と社員数



企業理念

企業理念	全体	顧客起点	経営理念	社員の生活を守り、 且つ社会に貢献する
	会社	育成、コミュニケーション		
	個人	付加価値向上、目的目標をもつ、熱い情熱をもつ		

経営方針	付加価値の追求と変化対応への取り組みから、 経営の安定成長を目指す
------	--------------------------------------



JPX日経中小型株指数構成銘柄への選定

東京証券取引所及び日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の2023年度構成銘柄に継続して選定されました。



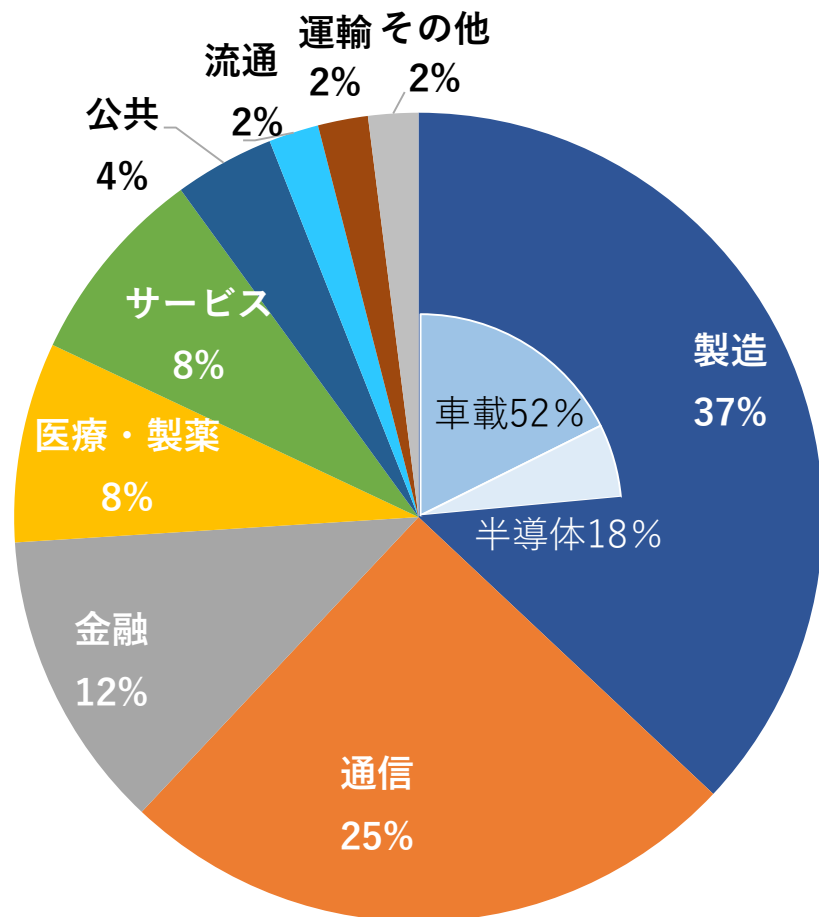
JPX-NIKKEI Mid Small

今後もステークホルダーの皆様のご期待に添うべく、選定の趣旨に則り、持続的な企業価値の向上と株主を意識した企業経営に努めてまいります。

*同指数は2023年8月31日から2024年8月29日まで適用

顧客基盤

業種別の売上高構成比



■ D I Tグループの取引先は 約2,800社

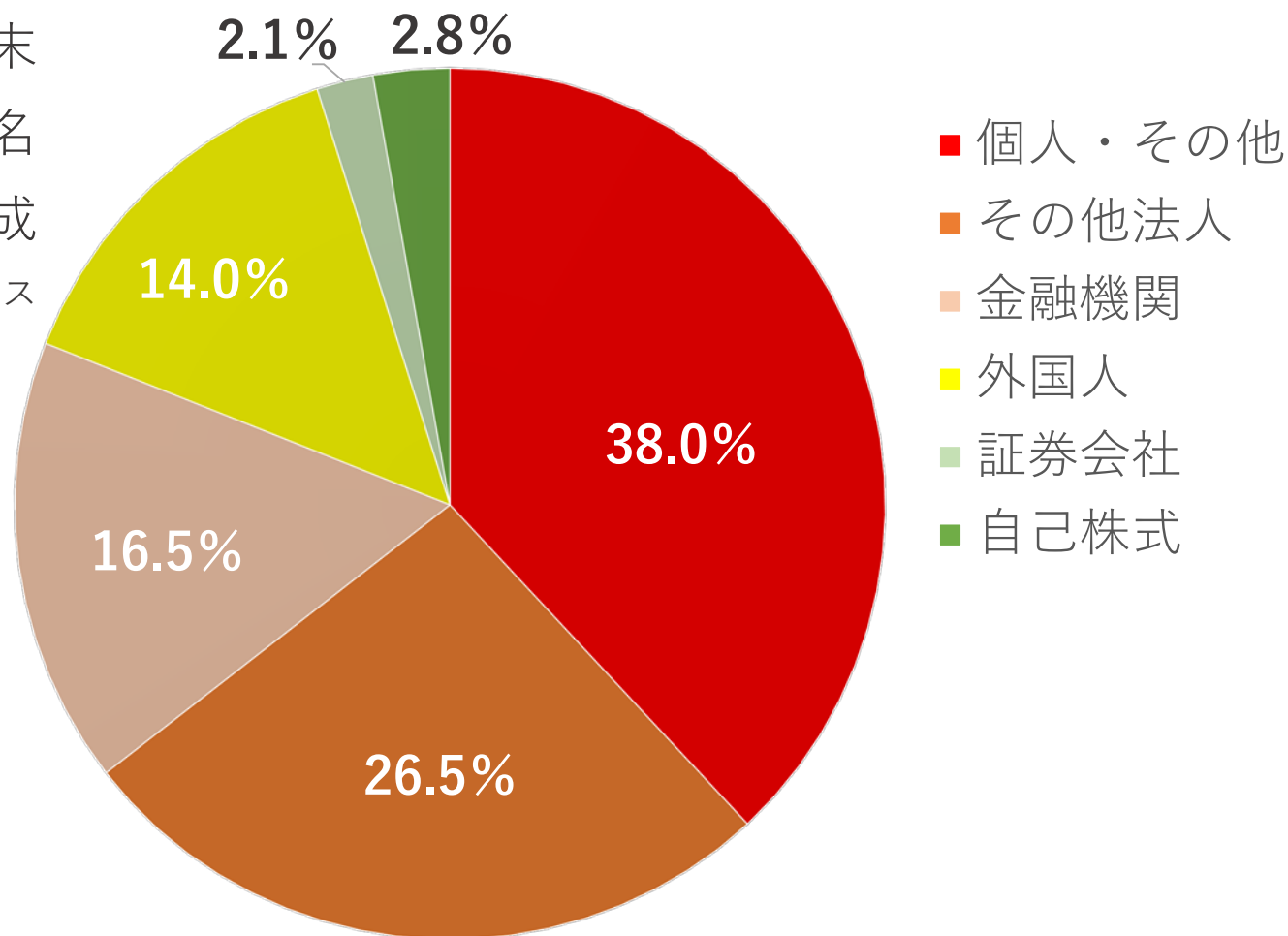
- ・ソフトウェア開発事業は上場企業及びその関連会社、システム販売事業は中小企業が主

■ ソフトウェア開発事業の業種別売上高構成（左図）

- ・情報システム子会社を含めたエンドユーザー売上比率は80%

株主構成

2023年12月末
株主数5,022名
株主構成
*グラフは保有数ベース



SDGs：持続可能な社会の実現への貢献

適切な企業経営と顧客への自社商品導入等を通じ、持続可能な社会への貢献に努めます

企業経営による貢献



従業員の福利厚生の充実、女性の役職登用等による多様性の推進、ガバナンス等を重視した適切な事業経営により、持続的社會へ貢献

関連するSDGsのゴール



自社商品導入等による貢献



セキュリティ商品（ウェブアルゴス）や働き方改革関連商品（ゾブロス、DD-CONNECT）等の導入により、快適で安全なインターネット社会の確立や、社会の生産性向上に貢献

関連するSDGsのゴール





お問合せ先：

経営企画本部 I R部 榎本 学
TEL: 03-6311-6532 FAX: 03-6311-6521
E-mail: ir_info@ditgroup.jp

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクは不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。